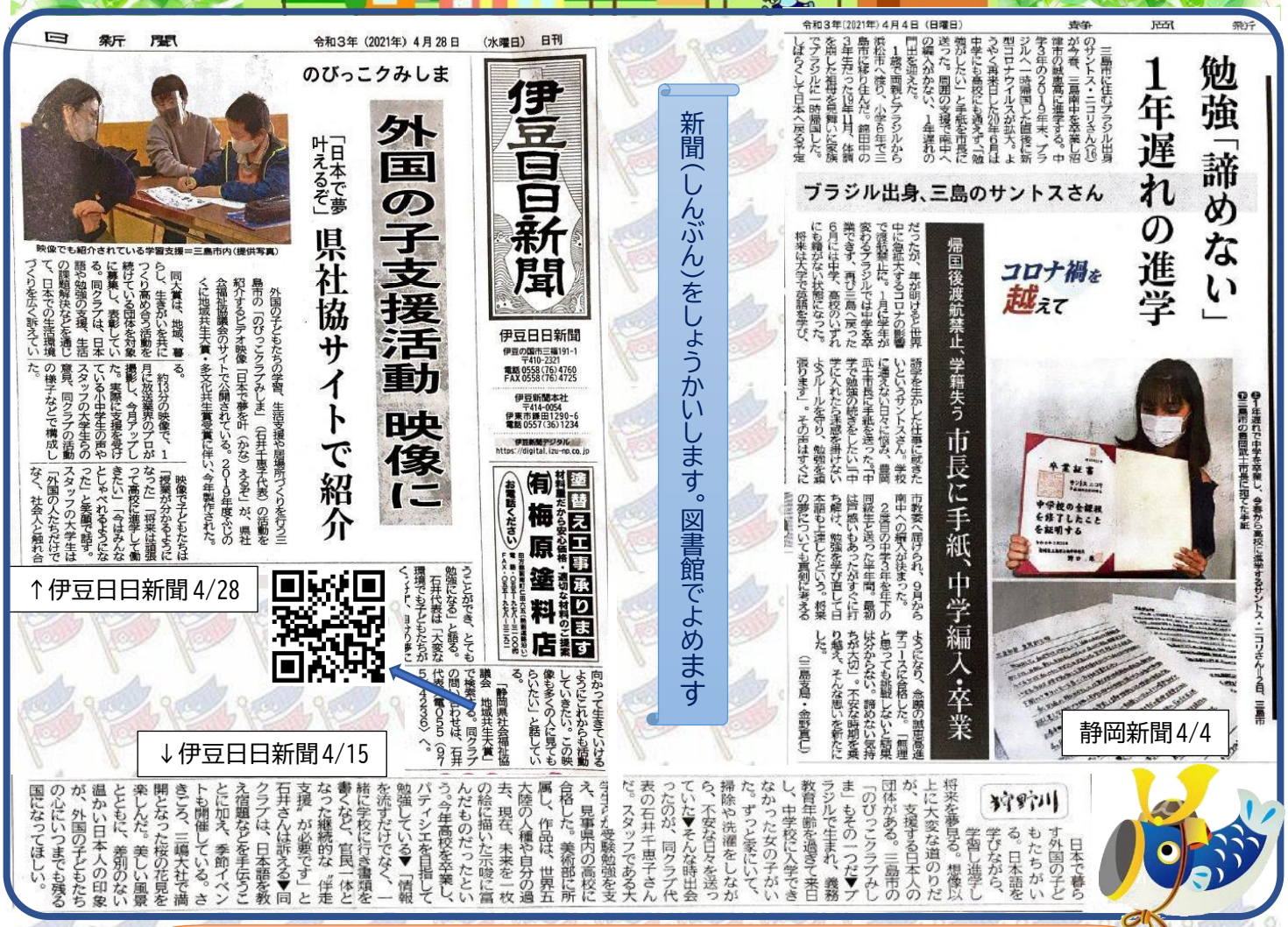
のびっこ

5月(2021)No.127

http://nobikko.chobi.net/

のびっこクラブみしま



日新聞　令和3年（2021年）4月28日（水曜日）日刊

のびっこクみしま

外国の子支援活動 映像に

「日本で夢叶えるぞ」県社協サイトで紹介

映像でも紹介されている学習支援＝三島市内（提供写真）

外国の子どもたちの学習、生活支援や居場所づくりを行う三島市の「のびっこクラブみしま」（石井千恵子代表）の活動を紹介するビデオ映像「日本で夢を叶（かな）えるぞ」が、県社会福祉協議会のサイトで公開されている。2019年度ふじのくに地域共生大賞・多文化共生賞受賞に伴い、今年製作された。

同大賞は、地域、暮らし、生きがいを共につくり高め合う活動を続けている団体を対象に募集し、表彰している。同クラブは、日本語や勉強の支援、生活の課題解決などを通じて、日本での生活環境づくりを広く訴えている。

約13分の映像で、1月に放送業界のプロが撮影し、今月アップした。実際に支援を受けている小中学生の声やスタッフの大学生らの意見、同クラブの活動の様子などで構成した。

映像で子どもたちは「授業が分かるようになった」「将来は頑張って高校に進学して働きたい」「今はみんなとしゃべれるようになった」と笑顔で話す。スタッフの大学生は「外国の人たちだけでなく、社会人と触れ合うことができ、とても勉強になる」と語る。

石井代表は「大変な環境でも子どもたちがくっすぐ、目ぎり夢こ向かって生きていけるようにこれからも活動していきたい。この映像も多くの人に見てもらいたい」と話している。

「静岡県社会福祉協議会 地域共生大賞」で検索する。同クラブの問い合わせは、石井代表（電055（975）4236）へ。

伊豆日日新聞

伊豆日日新聞
伊豆の国市三福191-1
〒410-2321
電話 0558(76)4760
FAX 0558(76)4725

伊豆新聞本社
〒414-0054
伊東市鎌田1290-6
電話 0557(36)1234

伊豆新聞デジタル
https://digital.izu-np.co.jp

塗替え工事承ります
材料量だから安心価格・適切な材料のご提案
(有)梅原塗料店
お電話ください

↑伊豆日日新聞 4/28

↓伊豆日日新聞 4/15

新聞（しんぶん）をしょうかいします。図書館でよめます

令和3年（2021年）4月4日（日曜日）　青春　民気　飛行

勉強「諦めない」1年遅れの進学

ブラジル出身、三島のサントスさん

コロナ禍を越えて

帰国後渡航禁止、学籍失う 市長に手紙、中学編入・卒業

三島市に住むブラジル出身のサントス・ニコリさん（16）が今春、三島南中を卒業し沼津市の誠恵高に進学する。中学3年の2019年末、ブラジルへ一時帰国した直後に新型コロナウイルスが拡大。ようやく再来日した20年6月は中学にも高校にも通えず、「勉強がしたい」と手紙を市長に送った。周囲の支援で南中への編入がかない、1年遅れの門出を迎えた。

1歳で両親とブラジルから浜松市へ渡り、小学6年で三島市に移り住んだ。錦田中の3年生だった19年11月、体調を崩した祖母を見舞いに家族でブラジルに一時帰国した。しばらくして日本へ戻る予定だったが、年が明けると世界中に急拡大するコロナの影響で渡航禁止に。1月に学年が変わるブラジルでは中学を卒業できず、再び三島へ戻った6月には中学、高校のいずれにも籍がない状態になった。

将来は大学で英語を学び、語学を生かした仕事に就きたいというサントスさん。学校に通えない日々に悩み、豊岡武士市長に手紙を送った。「中学で勉強の続きをしたい」「中学に入れたら迷惑を掛けないようルールを守り、勉強を頑張ります」。その声はすぐに市教委へ届けられ、9月から南中への編入が決まった。

2度目の中学3年を年下の同級生と送った半年間。最初は戸惑いもあったがすぐに打ち解け、勉強を学び直して日本語も上達したという。将来の夢についても真剣に考えるようになり、念願の誠恵高進学コースに合格した。「無理と思っても挑戦しないと結果は分からない。諦めない気持ちが大切」。不安な時期を乗り越え、そんな思いを新たにした。

（三島支局・金野真仁）

1年遅れで中学を卒業し、今春から高校に進学するサントス・ニコリさん＝2日、三島市
三島市の豊岡武士市長に迎えた手紙

静岡新聞 4/4

狩野川

日本で暮らす外国の子どもたちがいる。日本語を学びながら、学習し進学し将来を夢見る。想像以上に大変な道のりだが、支援する日本人の団体がある。三島市の「のびっこクラブみしま」もその一つだ▼ブラジルで生まれ、義務教育年齢を過ぎて来日し、中学校に入学できなかった女の子がいた。ずっと家にいて、掃除や洗濯をしながら、不安な日々を送っていた▼そんな時出会ったのが、同クラブ代表の石井千恵子さんだ。スタッフである大学生らが受験勉強を支え、見事県内の高校に合格した。美術部に所属し、作品は、世界五大陸の人種や自分の過去、現在、未来を一枚の絵に描いた示唆に富んだものだったという。今年高校を卒業し、パティシエを目指して勉強している▼「情報を流すだけでなく、一緒に学校に行き書類を書くなど、官民一体となった継続的な〝伴走支援〟が必要です」と石井さんは訴える▼同クラブは、日本語を教え宿題などを手伝うことに加え、季節イベントも開催している。さきごろ、三嶋大社で満開となった桜の花見を楽しんだ。美しい風景とともに、差別のない温かい日本人の印象が、外国の子どもたちの心にいつまでも残る国になってほしい。

しんがく、しんきゅう、おめでとうございます

ゆっくり、あたらしいクラスに、なれていきましょう

4月の のびっこ クラブ

こんねんど「のびっこクラブ」スタートしました！

4/24 フィリピン3イギリス1

中国1、サポート4, アモール6

♥へやから、だいすきなものをもってきて、じこしょうかい♥

5月 のびっこ

1日(ついたち)、
8日(ようか)
15にち、22にち

♥おしらせ♥

がいこくじんのためのぼうさいこうざ

日時：5月22日(土)
10じから

場所：しやくしょ
大社町べっかん

がいこくごのチラシ